

MITSUBISHI

三菱キーボード

形名

DX-KB5

取扱説明書

このたびは三菱キーボードをお買い上げいただきありがとうございました。

- ・ ご使用になる前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保存し、必要なときにお読みください。
- ・ 保証書は必ず「お買上げ日」「販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。記録したデータを個人的に楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

キーボードを正しく安全にご使用いただくために、ご使用になる前に必ず3～5ページをお読みください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

目次

安全のために必ずお守りください	3, 4	デジタルレコーダーのメニューの操作	17
使用上のお願い	5	操作するレコーダーの切り換え	17
各部のなまえとはたらき	6-9	メニューの設定	17
本体上面部	6-8	検索メニューの操作	17
本体底面部	9	ヘルプメニューの表示	17
接続	10, 11	その他の機能	18, 19
初期設定	12, 13	操作するレコーダーの切り換え	18
デジタルレコーダーの設定	12	記録	18
本機の設定	12	ロック	18
本機のモード	12, 13	ブックマークの登録	18
デジタルレコーダーの操作	14, 15	警告ボタン	18
操作するレコーダーの切り換え	14	レコーダー接続チェック	18
出力A/出力Bモードの切り換え	14	レコーダーシーケンス表示	18
マルチプレクサ機能	14	ワーニングレコーダーへの自動切り換え	19
再生	14, 15	本機のメニュー設定	19
記録・タイマー・ロック操作	15	カメラメニューヘルプ表示	19
カメラのPTZコントロール	16	「故障かな」と思う前に	20
操作するレコーダーの切り換え	16	仕様	21
制御するカメラの切り換え	16		
PTZ操作	16		
PTZヘルプ表示	16		

本取扱説明書は、デジタルレコーダー DX-TL5000 シリーズと接続した場合の操作について説明しています。DX-TL5000 シリーズ以外のデジタルレコーダーと接続している場合は、実際の動作が一部異なる場合があります。

安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■ 図記号の意味は次のとおりです。



絶対に行わないでください



絶対に触れないでください



必ずACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください



絶対に分解・修理はしないでください



絶対にぬれた手で触れないでください



絶対に水にぬらさないでください



必ず指示に従い、行ってください

警告

万一異常が発生したときは、ACアダプターの電源プラグをすぐ抜く

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

電源を切ったあと、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときはACアダプターの電源プラグをすぐ抜く

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。電源を切ったあと、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。



キャビネットをはずしたり、改造しない

火災や感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。



正しい電源電圧で使う

付属のACアダプターをご使用ください。

これ以外の電源で使用すると、火災や感電の原因となります。



落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない

火災や感電の原因となります。



本機の内部に異物を入れない

火災や感電の原因となります。



水でぬらさない

火災や感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺での使用は、特にご注意ください。



⚠️ 注意

次のような場所には置かない

- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所
- 高温になるところ
- 直射日光の当たる場所
- 熱器具の近く

ショートや発熱などで、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。



接続したまま移動させない

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。



お手入れの際は、ACアダプターの電源プラグを抜いて行う

感電の原因となることがあります。



本機の上に重いものを置かない、本機の上へのらない

けがや故障の原因となることがあります。



長期間使用しないときは、ACアダプターの電源プラグを抜いておく



本機は日本国内専用です

海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。

This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.



付属のACアダプターは、次のことを守って正しく使う

⚠️ 警告

AC(交流)100VにACアダプターの電源プラグをつなぐ



電源コードを傷つけない

- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 束ねて使用しない
- 加工しない



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

タコ足配線をしな

火災の原因となります。



雷が鳴りだしたら、ACアダプターには触れない

感電の原因となります。



⚠️ 注意

ぬれた手でACアダプターの電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



電源プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



電源プラグの差し込み具合を確認するほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。



使用上のお願い

使用電源について

- 必ず付属の AC アダプターをご使用ください。

取扱い

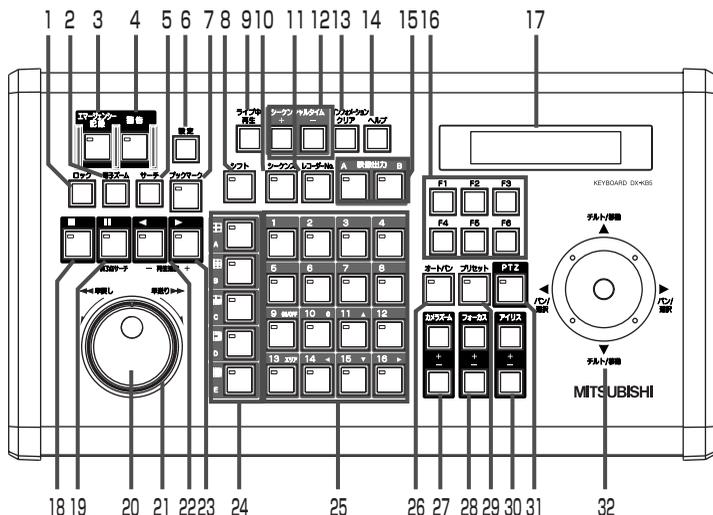
- 他の機器とあまり近づけないでください。機器がお互いに悪影響を与える可能性があります。強い磁気をもっているものを近づけないでください。映像に悪影響を与えたり、動作に支障をきたすことがあります。
- 殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- この製品は、クラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合、電波障害を発生させるおそれがあります。その際、この製品の利用者は、適切な対策を講ずることが必要とされることがあります。

お手入れ

- 汚れたときは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼってよごれをふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

各部のなまえとはたらき

■ 本体上部部

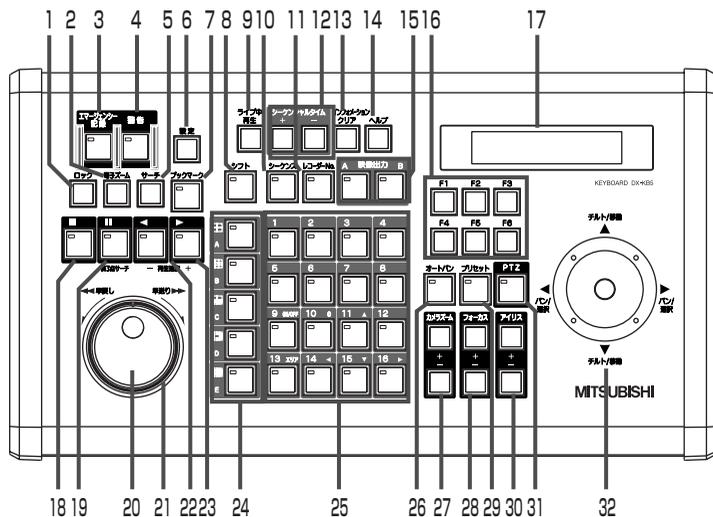


- 1 ロックボタン**
押すと、本機がロック状態になります。
- 2 電子ズームボタン**
1画表示中または再生中に押すと、映像を拡大します。拡大中心点を動かすには、カメラ番号ボタン（11、14、15、16）（デジタルレコーダー DX-TL2500シリーズに接続した場合は、1、2、3、4ボタン）を押してください。
- 3 エマージェンシー記録ボタン**
押すと、エマージェンシー記録を開始します。
デジタルレコーダー DX-TL2500シリーズに接続した場合は、このボタンは動作しません。
- 4 警告ボタン**
押すと、「モードアウト設定」が「LAN」に設定されたデジタルレコーダーのMODE OUT端子を駆動します。
デジタルレコーダー DX-TL2500シリーズに接続した場合は、このボタンは動作しません。
- 5 サーチボタン**
押すと、デジタルレコーダーの<ユーザーメニュー>中の検索機能を開いた状態で表示します。
- 6 設定ボタン**
押すと、デジタルレコーダーの<ユーザーメニュー>を表示します。
- 7 ブックマークボタン**
1画面の静止画再生中に押すと、選択画面が表示され、ブックマークの登録をすることができます。
デジタルレコーダー DX-TL2500シリーズに接続した場合は、このボタンは動作しません。
- 8 シフトボタン**
PTZ操作モード中に、PTZ操作したいカメラを選択するときに使用します。
本機の操作モードを、キーボードメニュー設定モード、レコーダー接続チェックモードに切り換えるときにも使います。

- 9 ライブ中再生ボタン**
分割画面表示中に押すと、デジタルレコーダーがライブ中再生モードに切り換わります。
デジタルレコーダー DX-TL2500 シリーズに接続した場合は、このボタンは動作しません。
- 10 シーケンスボタン**
押すと、シーケンス画面が表示されます。デジタルレコーダー DX-TL2500 シリーズに接続した場合は、分割画面の表示切替に使用します。
デジタルレコーダーに設定されたシーケンス切替時間が短い場合は、キーボードのLEDが正しく表示されない場合があります。
- 11 レコーダー No. ボタン**
操作するレコーダーを選択するときに使います。
デジタルレコーダー DX-TL2500 シリーズに接続した場合は、このボタンは動作しません。
- 12 シーケンシャルタイム+、-ボタン**
レコーダーシーケンス表示の切り換え時間を設定するときに使います。
デジタルレコーダー DX-TL2500 シリーズに接続した場合は、このボタンは動作しません。
- 13 インフォメーションクリアボタン**
押すと、LCD ディスプレイに表示されているデジタルレコーダーの警告を消去します。
- 14 ヘルプボタン**
押すと、デジタルレコーダーのヘルプメニューを表示します。
PTZ 操作モード、カメラメニューモードのヘルプを表示します。
デジタルレコーダー DX-TL2500 シリーズに接続した場合は、このボタンは動作しません。
- 15 映像出力 A ボタン**
押すと、本機のマルチプレクサ操作機能が出力 A に切り換わります。
映像出力 B ボタン
押すと、本機のマルチプレクサ操作機能が出力 B に切り換わります。
- 16 F1 ~ F6 ボタン**
カメラの特殊機能进行操作するときに使います。
- 17 LCD ディスプレイ**
本機のモード、接続しているデジタルレコーダーの状態やレコーダー番号などを表示します。
- 18 停止ボタン**
押すと、再生を停止します。
- 19 一時停止ボタン**
再生中に押すと、静止画再生になります。停止中に押すと、最新記録部分の終端で静止画再生となります。
- 20 ジョグダイヤル**
コマ送り再生をするときに使います。
カメラのズーム調整にも使います。
- 21 シャトルリング**
再生時の速度の変更、早送り、早戻しなどをするときに使います。
- 22 逆再生ボタン**
押すと、逆再生を始めます。再生間隔を切り換えるときにも使います。
- 23 再生ボタン**
押すと、再生を始めます。再生間隔を切り換えるときにも使います。
- 24 分割ボタン**
押すと、選択された分割画面表示に切り換わります。また、メニューの設定にも使用します。
デジタルレコーダー DX-TL2500 シリーズに接続した場合は、このボタンは動作しません。

各部のなまえとはたらき (つづき)

■ 本体上部部 (つづき)



25 1～16 ボタン

押すと、選択された番号のカメラの映像を画面に表示します。

操作するデジタルレコーダーを選択するときにも使います。

また、メニューの設定にも使用します。

ON/OFF (カメラ番号9) ボタン

エリア (カメラ番号13) ボタン

デジタルレコーダーの動き検知機能の検知エリアを設定するときに使います。

デジタルレコーダー DX-TL2500 シリーズに接続した場合は、デジタルレコーダーの選択、メニュー設定および検知エリアの設定にはこのボタンは使用できません。

26 オートパンボタン

押すと、オートパンを実行します。

デジタルレコーダー DX-TL2500 シリーズに接続した場合は、このボタンは動作しません。

27 カメラズーム+、-ボタン

カメラのズームを調節します。

28 フォーカス+、-ボタン

カメラのフォーカスを調節します。

29 プリセットボタン

16カ所までの監視ポイントをプリセットします。

30 アイリス+、-ボタン

カメラのアイリスを調節します。

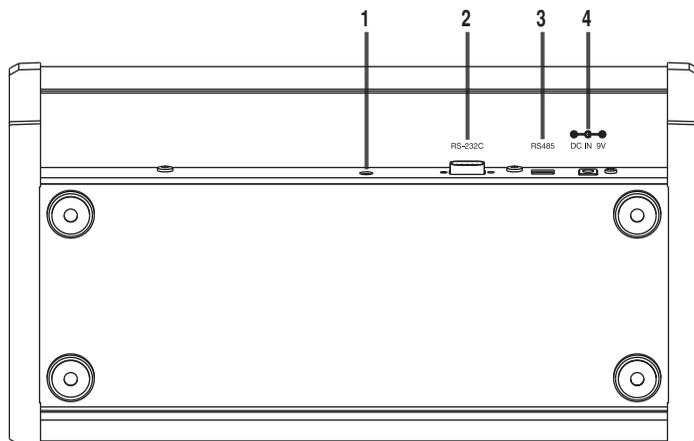
31 PTZ ボタン

本機の操作モードを切り換えるときに使います。

32 ジョイスティック

カメラのパン・チルトの操作に使用します。本機のメニューを設定するときにも使用します。

■ 本体底面部



1 モードスイッチ

本機と接続するレコーダーに対応した番号を設定するスイッチです。

モード スイッチ	対応デジタルレコーダー (代表機種)	制御方式	端子	カスケード 映像・音声 出力制御	出力A/B制御
1	DX-TL5000	グループ	RS485	○	レコーダー前面のボタンに同期
2	DX-TL5000	シングルA	RS485	×	レコーダー前面のボタンに同期
3	DX-TL5000	シングルB	RS485	×	キーボードから出力A/出力B独立制御*
4	予約	—	—	—	—
5	予約	—	—	—	—
6	DX-TL2500	シングル	RS232C	×	レコーダー前面のボタンに同期
7	予約	—	—	—	—
0	予約	—	—	—	—

*：1台のデジタルレコーダーに2台のキーボードを接続し、それぞれ出力A用、出力B用として使用することができます。

2 RS-232C 端子

本機とデジタルレコーダーのRS-232C 端子を接続するための端子です。

対応機種は、DX-TL2500 シリーズ (DX-TL2500、DX-TL3000、DX-TL3500) です。デジタルレコーダー DX-TL2500 シリーズを操作する場合は、DX-TL2500 シリーズの< RS-232C 設定 > で転送速度を「9600bps」、パリティを「無」に設定し、インターリンクケーブルで接続してください。

3 RS485 端子

本機とデジタルレコーダーを接続するための端子です。

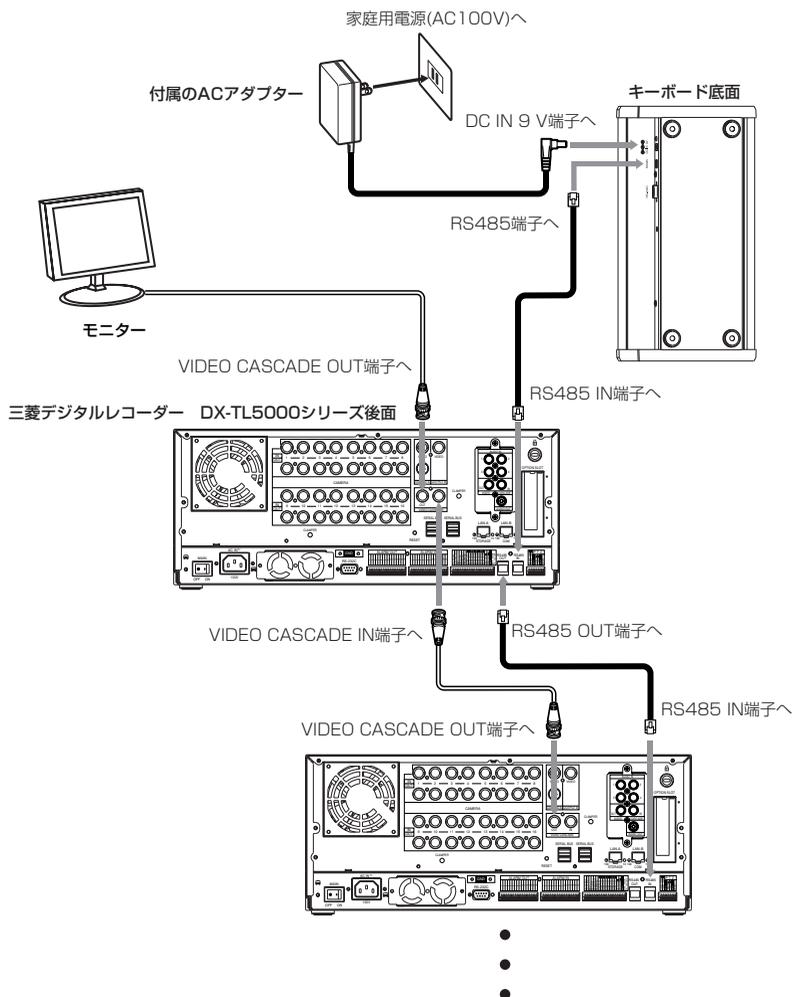
対応機種は、DX-TL5000 シリーズです。

4 DC IN 9V 端子

付属の AC アダプター電源用端子です。

接続

(デジタルレコーダー DX-TL5000 シリーズとの接続例)

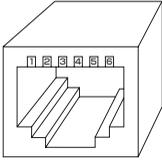


最大16台までのデジタルレコーダーを接続することができます。

キーボードを2台以上接続する場合は、RS485の配線を分岐させて接続してください。ただし、キーボードを多数接続した場合は、コリジョンが発生し、一時的に操作ができなくなることがあります。キーボードの接続台数は、4台以下を推奨します。また、RS485の総配線長は、信号品質を保つため、1 km以下としてください。

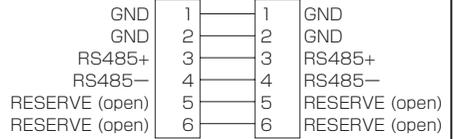
RS485結線情報 (DX-TL5000シリーズ接続時)

RS485端子



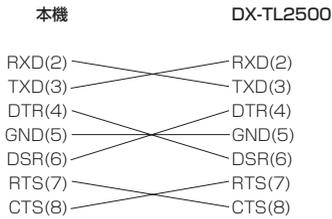
ピン番号	信号名
1	GND
2	GND
3	RS485+
4	RS485-
5	RESERVE (open)
6	RESERVE (open)

ケーブル結線



RS232C結線情報 (DX-TL2500シリーズ接続時)

RS-232Cケーブルの接続



初期設定

■ デジタルレコーダーの設定

カスケード接続の設定

デジタルレコーダーの< RS-485 カスケード接続の設定をする > (システムメニュー→通信設定) で、デジタルレコーダーのカスケード接続モードとカスケードアドレスを設定します。詳しい操作については、デジタルレコーダーの取扱説明書をごらんください。

■ 本機の設定

本機後面のモードスイッチを制御方式に合わせて以下のように設定してください。

- 1 : グループ制御 カスケード接続されたシステムでグループ全体の制御に使用。
- 2 : シングル A カスケード接続または個別に接続されたシステムで、個別のレコーダーの制御に使用。
- 3 : シングル B カスケード接続または個別に接続されたシステムで、個別のレコーダーの制御に使用。
さらに、1 台のレコーダーに、2 台のキーボードを接続しモニター出力 A とモニター出力 B を独立して制御可能。

注意

シングル A およびシングル B モードでは、映像・音声のカスケード出力の制御は行いません。シングル B モードは、デジタルレコーダーのファームウェアのバージョンによっては動作しない場合があります。

■ 本機のモード

本機には、以下の 6 つの操作モードがあります。

レコーダー操作モード

本機に接続されたデジタルレコーダーの操作を行うモードです。また、カスケード接続された最大 16 台のデジタルレコーダーの操作をすることもできます。

キーボードメニュー設定モード

本機のメニュー設定を行うモードです。

レコーダーシーケンス表示モード

接続されたデジタルレコーダーの映像を、設定された切り換え時間ごとにシーケンス表示するモードです。

レコーダー接続チェックモード

接続されたデジタルレコーダーの確認をするモードです。

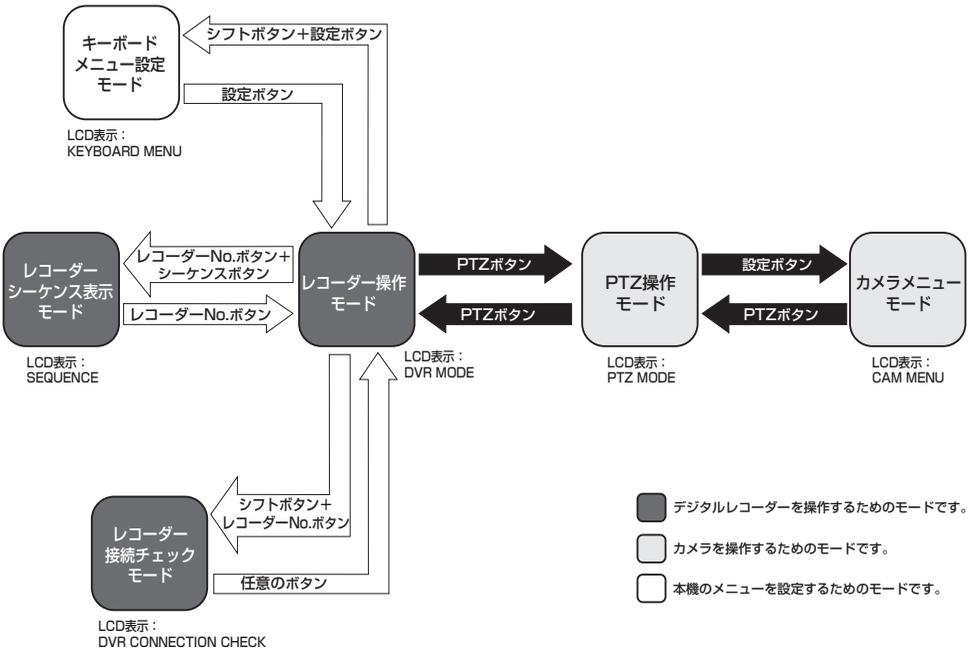
PTZ 操作モード

デジタルレコーダーに接続された PTZ 対応カメラの操作を行うモードです。また、カスケード接続された最大 16 台のデジタルレコーダーに接続されたカメラの PTZ 操作を行うこともできます。(カメラによっては、対応していない場合があります。)

カメラメニューモード

接続されたカメラのメニューを操作するためのモードです。(カメラによっては、対応していない場合があります。)

本機のモードを切り換えるには、以下のボタンを押してください。モードは、本機のLCDディスプレイで確認することができます。



デジタルレコーダーの操作

本機を各項目の右に表示したモードに切り換えてから操作してください。
(切り換えかたは、13 ページ)

■ 操作するレコーダーの切り換え

レコーダー操作モード

- 1 レコーダー No. ボタンを押す。
- 2 操作したいレコーダーの ID 番号に対応した番号ボタン (1 ~ 16) を押す。

■ 出力 A/ 出力 B モードの切り換え

レコーダー操作モード

映像出力 A または映像出力 B ボタンを押すと、本機のマルチプレクサ操作機能が出力 A と B で切り換わります。

■ マルチプレクサ機能

レコーダー操作モード

1 画面表示

1 ~ 16 ボタンを押すと、デジタルレコーダーに接続されたカメラの映像を画面に 1 画表示します。ボタンの番号は、デジタルレコーダー後面の CAMERA IN 端子の番号に対応しています。

分割表示

分割ボタンを押すと、画面が選択された分割表示に切り換わります。押すたびに、選択されている分割画面の異なるパターンの画面を表示します。

シーケンス表示

シーケンスボタンを押すと、表示中の表示パターンでシーケンス表示を行います。

■ 再生

レコーダー操作モード

再生・逆再生

- ・ 再生ボタンを押すと、デジタルレコーダーに記録された内容を再生します。
- ・ 逆再生ボタンを押すと、逆再生になります。
- ・ デジタルレコーダーの電源を入れたあとに初めて再生ボタンを押したときは、記録された最も古い映像から再生が始まります。それ以外の場合は、前回再生を停止させたところから再生を始めます。
- ・ デジタルレコーダーの電源を入れたあとに初めて逆再生ボタンを押したときは、最後に記録した映像から逆再生が始まります。

静止画再生

- ・ 再生中または逆再生中に一時停止ボタンを押すと、静止画再生になります。
- ・ もう一度押すと、再生または逆再生に戻ります。
- ・ 停止中に一時停止ボタンを押すと、最新記録部分の静止画再生になります。

再生速度の変更

- ・ 再生中、逆再生中、静止画再生中にシャトルを回すと、再生速度を変えることができます。シャトルを回す角度により、再生速度が 4 段階で変わります。

高速早送り・早戻し再生

- ・ 停止中にシャトルを右に 1 秒以上回し続けると、高速早送り再生状態を保持します。
- ・ 停止中にシャトルを左に 1 秒以上回し続けると、高速早戻し再生状態を保持します。

コマ送り

- ・ 静止画再生中にジョグを右に回すと、順方向のコマ送りに、左に回すと、逆方向のコマ送りになります。
- ・ 回し続けると、連続コマ送りになります。
- ・ 回すのをやめると、静止画再生に戻ります。

再生の停止

- ・ 再生、逆再生、静止画再生中に停止ボタンを押すと、再生停止になります。

再生間隔の変更

- ・ 長い記録間隔の記録映像を速く再生するには、再生中または逆再生中に再生ボタンを押します。トータルコマ数で 120 pps の速度で再生または逆再生されます。逆再生ボタンを押すと、押すたびに再生速度が遅くなります (0.125 pps まで)。
- ・ 動きの速い記録映像をゆっくり再生するには、再生中または逆再生中に逆再生ボタンを押します。1 カメラあたり 0.125 pps の速度で再生または逆再生されます。再生ボタンを押すと、押すたびに再生速度が速くなります (120 pps まで)。

ライブ中再生

分割画面表示中に、希望のカメラ番号の再生画像を挿入して見ることができます。

- ・ 分割画面表示中にライブ中再生ボタンを押すと、デジタルレコーダーがライブ中再生モードに切り換わります。
- ・ ライブ中再生モードに切り換わってから 3 秒以内に再生画像を挿入したいカメラ番号のボタン (1 ~ 16) を押すと、選択されたカメラ番号の再生画像が表示されます。分割画面に表示中のカメラ番号の再生画像のみ挿入することができます。
- ・ 停止ボタンを押すと、再生を停止します。

■ 記録・タイマー・ロック操作

レコーダー操作モード

シフトボタンとファンクションボタン (F1 ~ F6) の組み合わせで、デジタルレコーダーの以下の操作を行うことができます。

- シフト+ F1 記録開始
- シフト+ F2 タイマー運用開始
- シフト+ F3 デジタルレコーダーのロック
- シフト+ F4 記録停止
- シフト+ F5 タイマー運用解除
- シフト+ F6 デジタルレコーダーのロック解除

カメラのPTZコントロール

本機を各項目の右に表示したモードに切り換えてから操作してください。
(切り換えかたは、13 ページ)

■ 操作するレコーダーの切り換え

レコーダー操作モード

- 1 レコーダー No. ボタンを押す。
- 2 操作したいレコーダーのID 番号に対応した番号ボタン (1 ~ 16) を押す。
そのレコーダーに接続されたカメラのPTZ 操作を行うことができます。

■ 制御するカメラの切り換え

PTZ操作モード

分割画面表示中に、本機のモードをPTZ 操作モードに切り換えます。シフトボタンを押してから、希望するカメラ番号のボタン (1 ~ 16) を押します。分割画面に映像が表示されているカメラにのみ切り換えることができます。

■ PTZ 操作

PTZ操作モード

チルト

ジョイスティックを上動かすと、カメラが上方向に傾きます。下に動かすと、下方向に傾きます。

パン

ジョイスティックを右動かすと、カメラが右方向にパンします。左に動かすと、左方向にパンします。

カメラズーム

カメラズーム+ボタン (望遠) またはカメラズーム-ボタン (広角) を押すと、カメラズームを調整します。

フォーカス

フォーカス+ボタン (遠) またはフォーカス-ボタン (近) を押すと、フォーカスを調整します。

アイリス

アイリス+ボタン (閉じる) またはアイリス-ボタン (開く) を押すと、アイリスを調整します。

プリセット

プリセットボタンを押し、3 秒以内に番号ボタン (1 ~ 16) を押すと、監視ポイントをプリセットすることができます。16 ポイントまで設定することができます。

オートパン

オートパンボタンを押すと、オートパンを実行します。

■ PTZ ヘルプ表示

PTZ操作モード

- ・ PTZ 操作モード中にヘルプボタンを押すと、選択されているカメラの特殊機能を操作するボタンの割り当てが、LCD ディスプレイに表示されます。
- ・ ヘルプボタンを押すたびに、次の行が表示されます。

デジタルレコーダーのメニューの操作

本機を各項目の右に表示したモードに切り換えてから操作してください。
(切り換えかたは、13 ページ)

■ 操作するレコーダーの切り換え

レコーダー操作モード

- 1 レコーダー No. ボタンを押す。
- 2 操作したいレコーダーの ID 番号に対応した番号ボタン (1 ~ 16) を押す。

■ メニューの設定

レコーダー操作モード

- ・ 設定ボタンを押すと、デジタルレコーダーの<ユーザーメニュー>が表示されます。
- ・ メニュー表示中は、以下のボタンでメニューの操作ができます。
 - － 分割ボタン ……メニュー画面中の A ~ E のアルファベットがついているボタンの操作
 - － 1 ~ 16 ボタン …メニュー画面中の 1 ~ 16 の数字がついているボタンの操作

■ 検索メニューの操作

レコーダー操作モード

- ・ サーチボタンを押すと、デジタルレコーダーの<ユーザーメニュー>が、検索機能を開いた状態で表示されます。
- ・ メニュー表示中は、以下のボタンでメニューの操作ができます。
 - － 分割ボタン ……メニュー画面中の A ~ E のアルファベットがついているボタンの操作
 - － 1 ~ 16 ボタン …メニュー画面中の 1 ~ 16 の数字がついているボタンの操作

■ ヘルプメニューの表示

レコーダー操作モード

ヘルプボタンを押すと、デジタルレコーダーの使用上の注意、操作方法、機能説明などのヘルプメニューが表示されます。メニュー表示中でもヘルプメニューを表示することができます。

その他の機能

本機を各項目の右に表示したモードに切り換えてから操作してください。
(切り換えかたは、13 ページ)

■ 操作するレコーダーの切り換え

レコーダー操作モード

- 1 レコーダー No. ボタンを押す。
- 2 操作したいレコーダーのID 番号に対応した番号ボタン (1 ~ 16) を押す。

■ 記録

レコーダー操作モード

エマージェンシー記録ボタンを押すと、エマージェンシー記録が始まります。

■ ロック

レコーダー操作モード

- ・ ロックボタンを押すと、本機がロック状態になります。

■ ブックマークの登録

レコーダー操作モード

1 画面の静止画再生中にブックマークボタンを押すと、選択画面が表示され、ブックマークを登録することができます。

- ・ メニュー表示中は、以下のボタンでメニューの操作ができます。
 - 分割ボタン …… メニュー画面中の A ~ E のアルファベットがついているボタンの操作
 - 1 ~ 16 ボタン …… メニュー画面中の 1 ~ 16 の数字がついているボタンの操作

■ 警告ボタン

レコーダー操作モード

「モードアウト設定」が「LAN」に設定されたデジタルレコーダーの MODE OUT 端子を駆動します。遠隔からデジタルレコーダーの MODE OUT 端子に接続された機器を動作させることができます。

■ レコーダー接続チェック

レコーダー接続チェックモード

- ・ 本機をレコーダー接続チェックモードにすると、接続されたレコーダー番号に対応する番号ボタン (1 ~ 16) が点灯し、接続されているデジタルレコーダーの確認をすることができます。

■ レコーダーシーケンス表示

レコーダーシーケンス表示モード

- ・ 本機をレコーダーシーケンス表示モードにすると、映像を表示するレコーダーを、設定された切り換え時間 (工場出荷時の設定は、5 秒) ごとに切り換えます。
- ・ シーケンシャルタイム+、一ボタンを押すと、切り換え時間を 2 ~ 60 秒の間で調節することができます。
- ・ レコーダー No. ボタンを押すと、レコーダー操作モードに戻ります。

■ ワーニングレコーダーへの自動切り換え

レコーダー操作モード レコーダー接続チェックモード レコーダーシーケンス表示モード

PTZ操作モード

- ・ 接続されたデジタルレコーダーからの警告発報を受信した場合、そのレコーダーに自動的に接続します。
- ・ インフォメーションクリアボタンを押すと、警告が消去されます。
- ・ この機能を有効にするには、「WARNING DISPLAY」メニューを「ON」に設定してください。

■ 本機のメニュー設定

キーボードメニュー設定モード

- ・ ジョイスティックを上下に動かすと、メニュー項目が移動します。
- ・ ジョイスティックを左右に動かすと、設定項目を選択します。
- ・ 設定ボタンを押すと、設定項目が確定され、レコーダー操作モードに戻ります。

メニュー項目	設定項目	機能
WARNING DISPLAY	ON	ワーニングが発生したレコーダーに自動的に接続します。
	OFF	LCDディスプレイに警告は表示されますが、ワーニングレコーダーへの自動切り換えは動作しません。
ALARM DISPLAY	ON	接点アラームの入力が発生したレコーダーに自動的に接続します
	OFF	LCDディスプレイにアラーム情報は表示されますが、レコーダーへの自動切り替えは行いません。
EMERGEN. DISPLAY	ON	エマージェンシー記録が発生したレコーダーに自動的に接続します
	OFF	LCDディスプレイにエマージェンシー情報は表示されますが、レコーダーへの自動切り替えは行いません。
KEY SOUND	ON	本機操作時にボタン音がなります。
	OFF	本機操作時にボタン音がなりません。
EMERGENCY SW	ON	エマージェンシー記録ボタンを有効にします。
	OFF	エマージェンシー記録ボタンを無効にします。
SEQUENCE DVR01 } SEQUENCE DVR16	ON	レコーダー1～16のレコーダーシーケンス表示モードが有効になります。
	OFF	レコーダー1～16のレコーダーシーケンス表示モードが無効になります。
PASSWORD		パスワードを設定すると、重要な操作や設定をする場合、パスワードの入力が必要になります。0000を設定すると、パスワードが解除されます。

■ カメラメニューヘルプ表示

カメラメニューモード

- ・ カメラメニューモード中にヘルプボタンを押すと、選択されているカメラのメニューの操作をするためのボタンの割り当てが、LCDディスプレイに表示されます。
- ・ ヘルプボタンを押すたびに、次の行が表示されます。

「故障かな」と思う前に

下記の内容をお調べになったあと、それでも不都合がある場合は、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店にご連絡ください。

こんな症状が出たら	ここをお調べください
レコーダーの操作ができない。	<ul style="list-style-type: none">● 正しく接続されていますか？● レコーダーの電源が入っていますか？● レコーダーのカスケードアドレスが設定されていますか？● 操作したいレコーダーが選択されていますか？● レコーダーがカスケードモードになっていますか？
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">● ACアダプターが正しく接続されていますか？
レコーダーが選択できない。	<ul style="list-style-type: none">● 正しく接続されていますか？● レコーダーの電源が入っていますか？● レコーダーのカスケードアドレスが設定されていますか？● レコーダーがカスケードモードになっていますか？
カメラの操作ができない。	<ul style="list-style-type: none">● 正しく接続されていますか？ デジタルレコーダーとカメラ間のRS485、RS-232Cの接続を確認してください。● レコーダーの電源が入っていますか？● レコーダーの<PTZ設定>メニューが正しく設定されていますか？

仕様

ACアダプター	入力	100V AC \pm 10% ; 50/60Hz	
	出力	DC9V 1.6A	
DX-KB5	電源	DC9V	
	定格電流	0.5A	
	許容周囲温度	5~40℃	
	許容相対湿度	最大80%	
	許容高度	2000m以下	
	外形寸法	365(幅)X201(奥行)X94(高さ)cm	
	質量	2.0Kg	
	制御端子	RS-485ポート	RS-485 出力端子RJ-11
		シリアルポート	RS-232C D-SUB 9ピン
	対応デジタルレコーダー	RS485接続	DX-TL5000シリーズ ・ DX-TL5000 ・ DX-TL5000K
	RS232C接続	DX-TL2500シリーズ ・ DX-TL2500 ・ DX-TL3000 ・ DX-TL3500	
付属品	ACアダプター	1個	
	取扱説明書(本書)	1冊	
	保証書	1通	

仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがあります。



京都製作所 〒617-8550 京都府長岡京市馬場岡所1番地